

令和5年2月7日 開催

## 令和4年度

### 令和4年度 第3回名古屋教育記者会懇談会

日時：2月7日（火） 13:00 ~14:00 @広報プラザ

司会：木村副総長

|       | 内 容   | 担 当   |
|-------|---|---|
| 1 冒 頭 | ・開会・本日のテーマ紹介  |   |
| 2     | ・名古屋大学における今後の国際展開（資料1）<br>グローバル・マルチキャンパスについて<br>戦略的パートナー大学について<br>ノースカロライナ州立大学とのMOA（合意覚書）締結<br><br>・全学同窓会米国支部の設立について（資料2） | 水谷副総長・<br>杉山総長<br><br>木村副総長・<br>全学同窓会代<br>表幹事 |
| 3 その他 | 【資料配布】<br>東海国立大学機構統合報告書2022の発行（資料3）<br><br>総長ブログ「総長自由闊達通信」について（資料4）<br><br>2月の行事予定表（資料5）                                  |   |

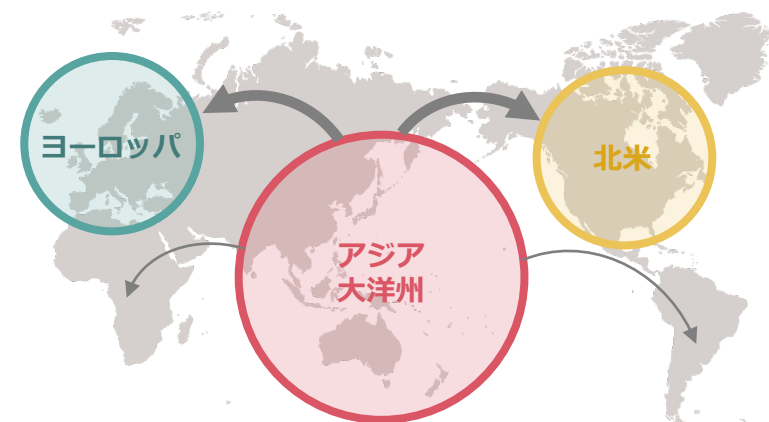
# 【資料1】

名古屋大学における今後の国際展開について

# グローバル・マルチキャンパス（GMC）の展開について

## GMC構想

1. 名古屋大学の強みを活かし、「アジアのハブ大学」として**アジア大洋州・北米・ヨーロッパ**の3極を中心とした国際展開を推進する
2. 世界トップレベルの**戦略的パートナー大学**との関係を深掘りし、「グローバル・マルチキャンパス」を展開する
3. 「グローバル・マルチキャンパス」を活用し、**ニューノーマル時代**の新たな国際教育、研究、産官学連携活動を推進する



## 重点的推進施策

1. **戦略的パートナー大学の選定と双方でのリアルなキャンパスの設置**【タテ展開】
2. オンラインとオフライン、現地と本邦キャンパスなど、様々な様態を組み合わせた新しい学修の形（**テーラーメイド型留学**）を提供
3. 人類共通の課題（SDGsなどの地球規模課題）の解決に向けた学際的・分野横断的な取り組み（**グランドチャレンジ**）を戦略的に実施
4. 「グローバル・マルチキャンパス」を活用した部局の活動の共有と支援
5. NU Tech（米国事務所）※、ヨーロッパセンター、中国交流センター、海外事務所（ウズベキスタン、バンコクなど）を用いた情報収集と情報発信【ヨコ展開】
6. 本学の既存の国際関連組織の有機的連携を促進

※NU Tech (Technology Partnership of Nagoya University, Inc)

## 期待される成果・大学全体に対する貢献

1. 大学の国際展開を集約することにより、全体像を俯瞰し、総合的な戦略策定が可能
2. 本部・各部局の活動を共有し、本部と部局および部局間の有機的連携を促進することにより、教育研究活動を強化
3. 教育研究活動の学際的展開の機会が増大（プラットフォーム機能）
4. 大学の国際展開をステークホルダーに対して可視化し、レピュテーションが向上（ショーケース機能）

## 戦略的パートナー大学とは

本学の国際的な教育・研究力を強化し、国際プレゼンスを向上させるため、国際戦略のもと、組織的に深く取り組む双方向の連携活動を推進する海外の有力大学

## 基本的な方向・特色

「戦略的パートナー大学」との間で共に戦略的な将来計画を策定し、双方向の連携を格段に強化する。

- ・ 本学が「アジアのハブ大学」として展開した現地キャンパスの設置・**運営実績と経験**を活かす。
- ・ アジア大洋州・北米・ヨーロッパの**3極から選定**する。
- ・ 本学の**リアルなキャンパス**を現地に設置し、将来的に相互に設置する。
- ・ リソースやネットワークを持続的に担保し、最大限に活用する仕組みを構築する。
- ・ リアルなキャンパスには、常駐する教員、職員、URAを配置する。
- ・ キャンパス事務所は、**海外拠点としての役割**（周辺大学・地域との交流、ファンド獲得、情報発信など）も担う。



# グローバル・マルチキャンパス（GMC）

## 戦略的パートナー大学

(P大)

### 名古屋大学のリアルなキャンパス

#### テーラーメイド型留学

- ・名大のオンライン授業受講
- ・P大の対面授業（共同開講科目、単位互換科目）受講
- ・研究遂行（両大の教員による研究指導体制）



#### 国際共同研究・産学連携

- ・強み・特色ある学術領域での研究遂行
- ・グランドチャレンジの展開
- ・産学連携の遂行



教育・研究・社会貢献

- ・P大の対面・オンライン授業受講
- ・名大のオンライン授業受講
- ・研究遂行（両大の教員による研究指導体制）



### 名古屋大学教職員の戦略的パートナー大学キャンパスでの業務

- 教員：授業担当（共同開講科目、名大の専門科目）、共同研究、研究指導（名大生、P大生）、学位プログラムの検討、グランドチャレンジの展開、相談業務など
- 職員：名大生の受入（インターンシップを含む）、P大生の派遣（インターンシップを含む）、P大のオンライン授業の名大への提供調整、名大研究者の受入、P大研究者の派遣、支援業務、情報収集・発信など
- URA：研究のマッチング、研究動向調査、ファンド獲得支援など

## 名古屋大学

- ・名大の対面・オンライン授業受講
- ・P大のオンライン授業受講
- ・研究遂行（両大の教員による研究指導体制）

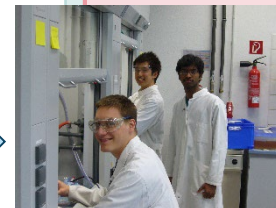


教育・研究・社会貢献

### 戦略的パートナー大学のリアルなキャンパス

#### 国際共同研究・産学連携

- ・強み・特色ある学術領域での研究遂行
- ・グランドチャレンジの展開
- ・産学連携の遂行



#### テーラーメイド型留学

- ・P大のオンライン授業受講
- ・名大の対面授業（共同開講科目、単位互換科目）受講
- ・研究遂行（両大の教員による研究指導体制）



### 戦略的パートナー大学教職員の名古屋大学キャンパスでの業務

- 教員：授業担当（共同開講科目、P大の専門科目）、共同研究、研究指導（P大生、名大生）、学位プログラムの検討、グランドチャレンジの展開、相談業務など
- 職員：P大生の受入（インターンシップを含む）、名大生の派遣（インターンシップを含む）、名大のオンライン授業のP大への提供調整、P大研究者の受入、名大研究者の派遣、支援業務、情報収集・発信など
- URA：研究のマッチング、研究動向調査、ファンド獲得支援など



長期・短期留学



長期・短期留学

# ノースカロライナ州立大学とのMOA（合意覚書）締結

NU Tech（米国事務所）15周年レセプションの中で、ノースカロライナ州立大学(略称: NC State)との名古屋大学現地キャンパス（Nagoya University Global Campus at NC State University）設置に向けてのMOA（合意覚書）を締結

※MOA: Memorandum of Agreement

締結日：2023年1月26日

場所：アメリカ・ノースカロライナ州立大学

杉山総長は、「NC StateとはNU Techを通じて、これまで色々な関係を構築してきた。今回の“Nagoya University Global Campus at NC State University”の設立により、両大学のコラボレーションは今後ますます増えていき、名古屋大学、NC Stateの両大学に色々なメリットをもたらすことを確信している。」と述べた。

NC StateのProvost Ardenは、「名古屋大学はNC Stateにとって重要な戦略的パートナーである。なぜならば、我々は、新しい知識を創造し、世界が直面する課題に対して具体的な解決策を提案していくという価値観を共有しているからである。“Nagoya University Global Campus at NC State University”の設立はまさしく歴史的なイベントであり、このキャンパスは、両大学の関係を一層強くするとともに新しい革新的なコラボを創造していくことを確信している」と述べた。

MOAの署名と披露（杉山総長とノースカロライナ州立大学Provost Dr. Arden）



ノースカロライナ州立大学（略称: NC State）は、米国・ノースカロライナ州にある16の州立大学のうちのひとつで、工学、農学のレベルは国際的にも非常に高く、ノースカロライナ州の工学・農学のフラッグシップ大学。学生数は3万5千人と非常に多く、名古屋大学の2倍以上の規模がある。アメリカンフットボール、バスケットボールなどのスポーツの強豪校でもあり、米国内でも非常に人気のある大学。

名古屋大学とNC Stateとの関係は古く、1985年には名古屋大学にとって海外の大学との初めての学生交流協定がNC Stateとの間で締結された。毎年「Ryugaku Academy」と称して、学生向けに、英語の勉強と米国文化、米国での大学生活を体験するため5週間のプログラムをNC Stateで実施している。また、工学研究科が実施している大学院生のリサーチインターンシップにNC Stateも参加しており、同大学院生が夏期に名古屋大学に滞在するなどのプログラムを実施している。また、研究活動では、生命農学研究科とNC Stateの間で共同研究や共同セミナーなども行われている。両大学の優れた技術を企業等に発表するNU Tech Roundtable Showcaseも共同で毎年実施されており、今年1月には第13回目のRoundtableがCOVID-19パンデミック後、初めて対面方式で開催された。

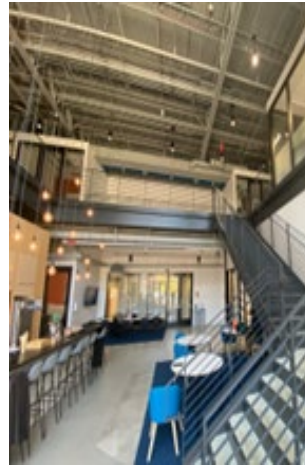
今回設置されるGlobal Campusは、名古屋大学の学生が、留学時期、学ぶキャンパス、学ぶ内容を自らの必要に応じて構築できるテーラーメイド型の留学を実現できる場となる他、名古屋大学の研究者がNC Stateの研究者との共同研究を通じて、国際的な課題に両大学の強みを持ち寄り挑戦できるGrand Challenge Researchの場ともなる。さらには、このGlobal Campusを通じて、両大学の学生が国際的なインターンシップを実現できる場にもなる。名古屋大学とNC Stateの連携を更に強化していくのみならず、名古屋大学の国際活動の拡充・強化、国際的なプレゼンスの向上を図っていく舞台となっていくことを目指す。





ノースカロライナ州立大学のCentennial CampusにあるRaleigh Foundedビル内に設置  
(2023年3月予定)

名称 : Nagoya University Global Campus at NC State University



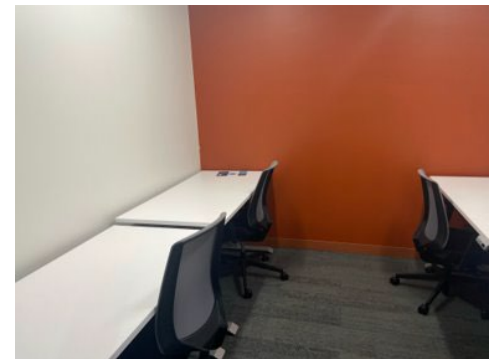
入口付近



シェア利用できるクラスルーム



名大キャンパス (ホワイトボード付き)



名大キャンパス



名大キャンパス付近

# 【資料2】

全学同窓会 米国支部の設立について

# 名古屋大学全学同窓会 米国支部設立記念総会・レセプション

1. 日時 : 2023年1月28日 (土) 17:00~20:00 (米国西海岸時間)
2. 場所 : The Westin San Francisco Airport, The Bayshore Room
3. 全学同窓会参加者 : 木村代表幹事・副総長、中野連携委員長
4. 名古屋大学参加者 : 杉山総長、佐宗副総長
5. 米国支部役員参加者 :
  - 支部長 岩浅 邦彦 National Institutes of Health (NIH) , Special Volunteer
  - 副支部長 松本 均 Fujitsu Laboratories of America, Inc. Executive Advisor
  - 代表幹事 神山 知久 NU Tech, Executive Director
  - 幹事 榊原 直人 Matterport, Mechanical lead
  - 幹事 Dustin R. CUMMINGS NYC Health + Hospitals, Surgeon
  - 幹事 Enkhee PUREV Temple University , Communication Officer
  - Association for Women in Science Philadelphia Chapter,  
Social Media Officer

米国支部当日の参加者数 : 29名

## 6. 概要

名古屋大学全学同窓会は、2002年10月に設立され、2022年で20周年を迎えました。これまでに、国内では4支部（関西、遠州、関東、岐阜）海外では15支部（韓国、バングラデシュ、上海、タイ、北京、ベトナム、カンボジア、モンゴル、ウズベキスタン、台湾、ラオス、ミャンマー、インドネシア、フィリピン、マレーシア）が設立されており、**米国支部は16番目の海外支部**となります。現在、米国には卒業生が約1,300名おり、これまで任意の形で「名大米国フレンズ」（NU Friends in the States）という卒業生のネットワークを作って活動してきたところをもとに、この度の支部設立となりました。米国支部は、初めてアジア地域以外の支部設立であり、新たな海外拠点形成の動きとなることが期待されます。



杉山総長から岩浅支部長へ米国支部旗の授与



# 名古屋大学全学同窓会 米国支部設立記念総会・レセプション

- ◆ 設立時会員数 400名
- 米国在中の卒業・修了生 約1,300名 ※NU Techで把握しているLinkedIn情報

## ◆ 支部設立の経緯

2019年1月に米国在住名大OB/OG等のボランティアな集まりとして発足した名大米国フレンズ（Nagoya University Friends in the States）のネットワーク、活動が米国内で徐々に広がってきており、4年目を迎える今般、名大米国フレンズを名古屋大学全学同窓会の正式な米国支部に位置付けることを検討することになりました。

## ➢ NU Friendsの現況

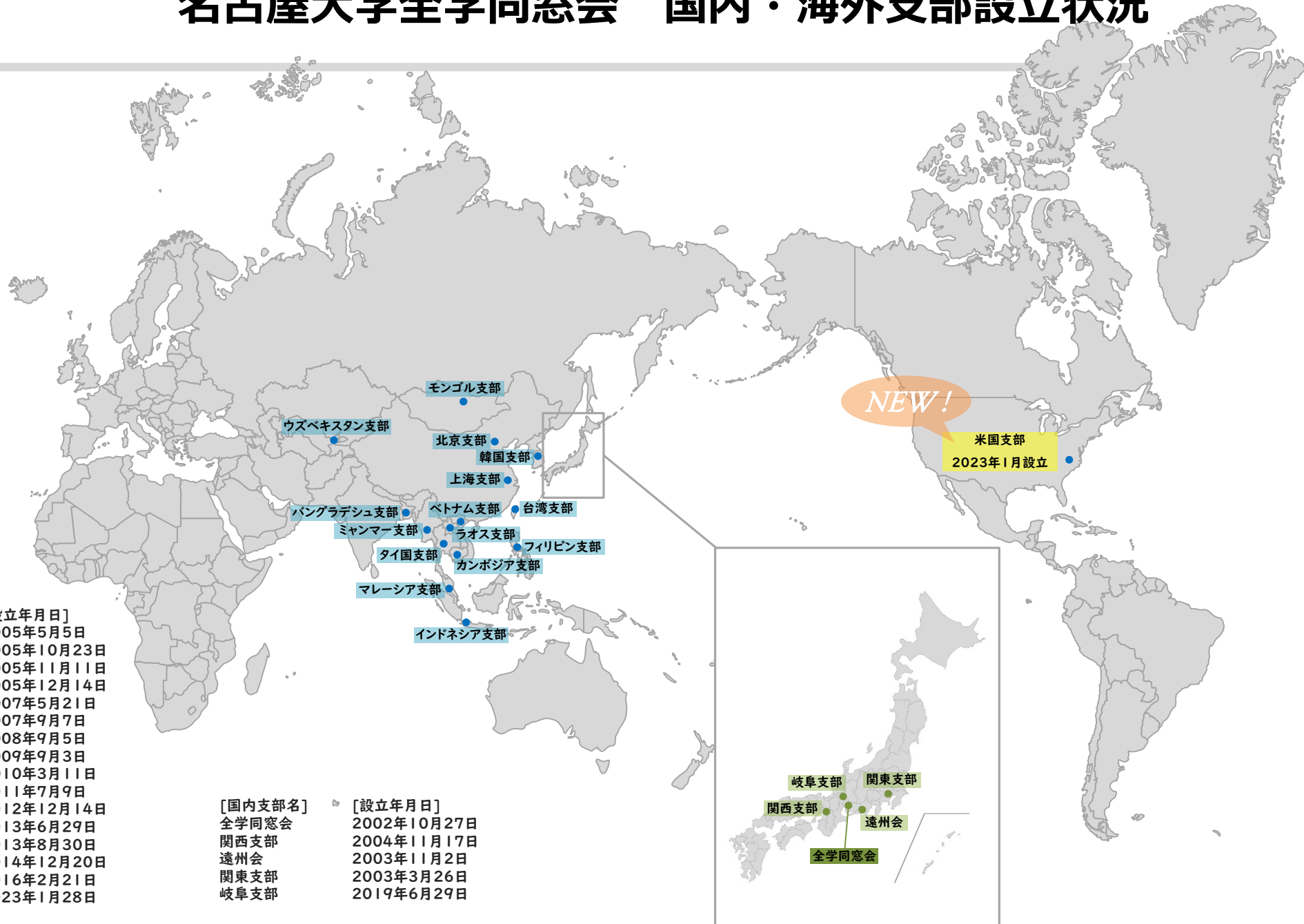
米国には名古屋大学を卒業・修了した者、名古屋大学で短期留学等をした者が、LinkedIn上で確認しただけでも約1,300人程度存在しています。このうち、10-20人がコアなメンバーとなって、名大米国フレンズの活動を展開しており、例えば、名大米国フレンズウェビナー（米国で活躍する同窓生が講師を務めるWebinar）、年次総会の開催（毎年1月に開催）、ファンドレイズ活動などが挙げられます。なお、名大米国フレンズの事務局機能は名古屋大学北米事務所の Technology Partnership of Nagoya University, Inc. (NU Tech) が担っており、上記1,300人のうち、400人程度のコンタクトを把握しています。



名古屋大学役員と米国支部役員

# 名古屋大学全学同窓会 国内・海外支部設立状況

2023年2月現在



| [海外支部名]      | [設立年月日]     |
|--------------|-------------|
| 韓国支部         | 2005年5月5日   |
| Bangladesh支部 | 2005年10月23日 |
| 上海支部         | 2005年11月11日 |
| タイ国支部        | 2005年12月14日 |
| 北京支部         | 2007年5月21日  |
| ベトナム支部       | 2007年9月7日   |
| カンボジア支部      | 2008年9月5日   |
| モンゴル支部       | 2009年9月3日   |
| ウズベキスタン支部    | 2010年3月11日  |
| 台湾支部         | 2011年7月9日   |
| ラオス支部        | 2012年12月14日 |
| ミャンマー支部      | 2013年6月29日  |
| インドネシア支部     | 2013年8月30日  |
| フィリピン支部      | 2014年12月20日 |
| マレーシア支部      | 2016年2月21日  |
| 米国支部         | 2023年1月28日  |

| [国内支部名] | [設立年月日]     |
|---------|-------------|
| 全学同窓会   | 2002年10月27日 |
| 関西支部    | 2004年11月17日 |
| 遠州会     | 2003年11月2日  |
| 関東支部    | 2003年3月26日  |
| 岐阜支部    | 2019年6月29日  |

# 【資料3】

東海国立大学機構統合報告書2022  
の発行について



## 統合報告書

機構長室

機構長挨拶・プロフィール

執行体制

役員等

経営協議会委員

組織図

中期目標／中期計画  
／年度計画／評価

ビジョン

東海国立大学機構ビジョン  
2.0

スタートアップビジョン

宣言など

DEIB宣言

機構ロゴマーク

広報・刊行物

統合報告書

本報告書では、東海国立大学機構が目指す姿、ビジョン・戦略について、ステークホルダーへのアカウンタビリティーの強化を図ることを目的に、分かりやすく伝えるように意識して作成しています。

また、一般の投資家の方にもご理解頂けるように国際統合報告フレームワークで必要とされる8つの内容要素を踏まえ、リスクと機会の分析、外部環境が事業運営に与える影響、事業戦略、アウトプット・アウトカムの一貫性を意識した価値創造ストーリーの構築を目指しました。

This report is prepared with the aim of communicating Tokai National Higher Education and Research System's vision and strategy in an easy-to-understand manner with the aim of strengthening accountability to stakeholders.

In addition, based on the eight content elements required by the International Integrated Reporting Council (IIRC) Framework, we aimed to create value creation stories that is consistent with risk and opportunity analysis, the impact of the external environment on business operations, business strategy, and output/outcome so that ordinary investors can also understand the story.



### 東海国立大学機構INTEGRATED REPORT2022

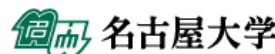
- [A 3見開きページ版](#)  (閲覧推奨)
- [A 4片開きページ版](#)  (印刷推奨)

### 東海国立大学機構INTEGRATED REPORT2021

- [A 3見開きページ版](#)  (閲覧推奨)
- [A 4片開きページ版](#)  (印刷推奨)

### Tokai National Higher Education and Research System INTEGRATED REPORT 2021

- [A3 spread page version \(recommended viewing\)](#) 
- [A4 single page version \(recommended for printing\)](#) 



# 【資料4】

総長ブログ「総長自由闊達通信」について

# 総長自由開達通信



総長が日々こなしているイベントや、その中で感じたことなどを紹介します。

総長っていったい何をしているのか、疑問に思っている皆さんも大勢いるかと思います。ここでは、私が日々こなしているイベントや、その中で感じたことなどを紹介していこうと思っています。

## 名古屋大学公式サイト <https://www.nagoya-u.ac.jp/>

トップページ  
→「総長室から」バナー

トップページ  
→大学の概要／学部・研究科  
→「総長室」

→総長自由開達通信



どちらからでも



## 大学の概要 / 学部・研究科

## 総長室

[ごあいさつ](#)[プロフィール](#)[総長の窓](#)[総長自由闊達通信](#)[Nextビジョン2027](#)[歴代総長](#)

## 執行体制

## 主な受賞者・特別教授など

## 組織 / 学部・研究科など

## 学術憲章 / 宣言など

## 中期目標・中期計画・評価 / 情報公開 / 公表事項など

## 歴史 / 各種データ

## 東海国立大学機構

## 大学広報

## 総長自由闊達通信



総長が日々こなしているイベントや、その中で感じたことなどを紹介します。

総長っていったい何をしているのか、疑問に思っている皆さんも大勢いるかと思いますが。ここでは、私が日々こなしているイベントや、その中で感じたことなどを紹介していこうと思っています。

## 2023年1月

## 1月23日

今日は早朝から東京に移動、ホテル椿山荘で、日印大学等フォーラムに出席してきました。インドの10大学の学長・副学長が来日し、日本の19の大学、3つの機関の代表者が対面でのミーティングを行う、というもので、お互いの活動を知る本当に良い機会でした。

朝9時半からインド工科大学デリー校と、10時半からは同じくマドラス校との1対1のミーティングを持つことができたのもとても良かったのですが、その代償は朝5時起きでした。新幹線で寝られたので何とか1日持ちましたが...

名古屋大学は、これまでアジアとの連携を強力に進めてきていたのですが、じつはインドとの連携はまだまだなのが実情です。例えば2021年度の留学生の総数は2,386で、中国からは1,352名もの学生が来ているのに、インドからはわずか29名です。今年には中国を抜いて世界一の人口になるインドからにしては、あまりに少なすぎませんか。

なぜ少ないのか、インド側の学長たちからは、宣伝が足りない、日本の大学が欧米に比べてより魅力的であるように見えない、卒業後の進路が示せていない、などの辛口のご意見が寄せられました。インドの最大の留学先はアメリカ、オーストラリア、イギリス、カナダの順です。これらは、もちろん英語が母語の国であり、英語をヒンディーと並んで公用語とするインド人が選ぶ留学先として選びやすい国々です。これらの国ではなく、日本、そして名古屋大学を選んでもらうには、ひと工夫もふた工夫も必要になります。学部の若い学生にとっては、日本の文化、特にアニメやマンガなどがカラーコンテンツになるでしょう。名古屋大学のG30のように英語のみで教えるプログラムも重要です。私の研究室にいた二人のインド人もG30に所属し、マンガやアニメが大好きでした。

一方で、大学院生を引きつけるには、高い研究レベル、しっかりとした財政的支援、修了後の就職先の斡旋、などが必須だと思います。インドに展開を希望している中京地区の企業にしっかりと紹介できれば、本学がとても魅力的に見えてくるかと思っています。

インドからの留学生や、インドの大学との共同研究は、名古屋大学にとってフロンティアです。これからは、積極的にインドの大学と連携していこうと思っています。

ちなみに、会場の椿山荘は、明治の元勲、山縣有朋の屋敷だったところで、都心にあるとは思えない広大な敷地に美しい庭園のあるところです。



# 【資料5】

2月の行事予定表について



行事予定

| 開催日                   | 行事等の正式名称  | 概要(場所・時間・講演内容・講演者・入場料など)   | 連絡先及び内線番号   | URL   |
|-----------------------|---|--|---|---|
| 10月11日(火)～<br>5月6日(土) | 東海国立大学機構連携企画<br>博物館第29回特別展<br>「岐阜大・名古屋大 博物館コラボ展」        | 場所:博物館<br>時間:10:00～16:00(入館15:30まで)<br>入場料:無料  | 博物館事務室<br>052-789-5767  | <a href="https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000593">https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000593</a>               |
| 2月8日(水)、<br>2月13日(月)  | 女性起業家育成ワークショップII<br>「魅せる！ピッチの作り方」                       | 場所:ナショナル・イノベーション・コンプレックス3階大会議室<br>時間:9:00～12:00<br>対象:東海地区の学生で、すでにアイデアを持っており代表者が女性のチーム(1～5名)<br>定員:30名<br>参加費:無料   | 学術研究・<br>産学官連携推進本部<br>Tongali事務局<br>052-747-6490  | <a href="https://tongali.net/events/women-entrepreneurs-nagoyau/">https://tongali.net/events/women-entrepreneurs-nagoyau/</a>                     |
| 2月9日(木)               | 第91回名大カフェ“Science, and Me”                              | 場所:オンライン(Zoomウェビナー)<br>時間:19:00～20:00<br>講演題目:「魚はものをどのように見ているのかー魚の視覚解明を目指してー」<br>講演者:萩尾華子(高等研究院/生命農学研究科YLC特任助教)<br>定員:500名<br>対象:学生、一般<br>参加費:無料                                       | 学術研究・<br>産学官連携推進本部<br>outreach@aip.nagoya-u.ac.jp   | <a href="https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/research-information/mcafe/event91">https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/research-information/mcafe/event91</a> |
| 2月9日(木)               | 持続可能は実現可能?「循環型社会」を考える対話型ワークショップ                         | 場所:ナショナル・イノベーション・コンプレックス1階Idea Stoa<br>時間:13:00～15:45<br>対象:学生<br>参加費:無料   | 学術研究・<br>産学官連携推進本部<br>スタートアップ推進室<br><a href="https://ideastoa.aip.nagoya-u.ac.jp/contact/">https://ideastoa.aip.nagoya-u.ac.jp/contact/</a> | <a href="https://tongali.net/events/circular-economy/">https://tongali.net/events/circular-economy/</a>   |
| 2月11日(土・祝)            | 東海国立大学機構連携企画博物館<br>第29回特別展関連博物館コンサート<br>「標本と楽しむピアノトリオ」  | 場所:博物館2階展示室<br>時間:14:00～15:00<br>出演:エミリーエ・ピアノトリオ(平山晶子氏、二川理嘉氏、杉山知子氏)<br>定員:50名(申込終了)<br>参加費:無料  | 博物館事務室<br>052-789-5767  | <a href="https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/concert/#000623">https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/concert/#000623</a>                         |
| 2月13日(月)              | 環境学研究科の地球規模課題:<br>「資源・物質循環」講演会<br>「資源リサイクル技術の最新動向と将来展望」 | 場所:オンライン(Zoom)<br>時間:14:00～17:00<br>定員:100名(先着順)<br>対象:一般<br>参加費:無料  | 環境学研究科<br>准教授<br>ジンチェンコ アナトーリ<br>zinchenko@urban.env.nagoya-u.ac.jp   | <a href="https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/pub/20230106.pdf">https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/pub/20230106.pdf</a>                           |
| 2月13日(月)              | 人文学研究科<br>附属超域文化社会センター<br>セミナー第17回                      | 場所:文学部本館1階131講義室<br>時間:14:00～16:00<br>講演題目:「現代音楽と日本文化・文学とのつながりー作品をめぐる感覚の複層性と経験」<br>講演者:伊藤美由紀氏(作曲家)、木村麻耶氏(二十五絃箏奏者)、宇澤 達(多元数理科学研究科教授)<br>参加費:無料  | 小島秋良<br>kojima.akira.c3@s.mail.nagoya-u.ac.jp   | <a href="https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/tcs/topics/index.html">https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/tcs/topics/index.html</a>                           |
| 2月14日(火)              | 第6回東海スタートアップカンファレンス<br>「テクノロジーが未来のビジネスを拓く」              | 場所:ミッドランドスクエア オフィスタワー5階ミッドランドホール<br>時間:14:00～18:00<br>定員:150名<br>参加費:無料  | 学術研究・<br>産学官連携推進本部<br>Tongali事務局<br>052-747-6490  | <a href="https://tongali.net/events/startup-conf2023/">https://tongali.net/events/startup-conf2023/</a>   |
| 2月16日(木)              | 高等教育研究センター<br>第208回招へいセミナー                              | 場所:オンライン(Zoom)<br>時間:14:00～16:00<br>講演題目:「日本の大学界をジェンダー平等にー男女共同参画政策の展開と女性学長研究の成果からー」<br>講演者:河野銀子氏(山形大学教授)<br>内容:男女共同参画政策の展開を押さえ、国内外の女性学長を対象とした演者らの共同研究を踏まえて今後を展望する<br>定員:100名<br>参加費:無料 | 高等教育研究センター<br>教授 加藤真紀<br>052-789-5693   | <a href="https://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/230216_kawano/">https://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/230216_kawano/</a>                       |

|                     |   |  |   |   |
|---------------------|---|--|---|---|
| 2月17日(金)            | 人文学研究科<br>附属超域文化社会センター<br>セミナー第18回  | 場所:文系総合館7階カンファレンスホール<br>時間:13:30~17:15<br>講演題目:『『在日』2世が語り継ぐ濟州4・3という記憶:激動の『戦後』を生き抜いた女性の生涯』<br>講演者:ヤン ヨンヒ氏(映画監督)<br>定員:70名<br>参加費:無料                                     | 朴成柱<br>park.seongju.z9@s.mail.nagoya-u.ac.jp  | <a href="https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/tcs/topics/index.html">https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/tcs/topics/index.html</a>                           |
| 2月17日(金)            | 環境学研究科地球規模10課題<br>「自然災害」フォーラム<br>「三陸の暮らしと震災復興ー宮城県南三陸町における東日本大震災ー」   | 場所:環境総合館1階レクチャーホール<br>時間:14:30~17:00<br>定員:50名(先着順)<br>対象:一般<br>参加費:無料   | <a href="https://forms.office.com/r/vjCtHzfD6g">https://forms.office.com/r/vjCtHzfD6g</a>   | <a href="https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/pub/20230111.pdf">https://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/pub/20230111.pdf</a>                           |
| 2月17日(金)            | 2022年度日本法教育研究センター<br>アジア探法・「法の多様性」<br>探究・発信プログラム<br>学生フォーラム   | 場所:アジア法交流館2階ACフォーラム、オンライン<br>時間:9:00~18:30<br>内容:アジア諸国の未来の法律家たちと日本語で交流し議論する<br>対象:学生、研究者、一般<br>参加費:無料  | 法政国際教育協力<br>研究センター<br>052-789-4263<br>cale-jimu@law.nagoya-u.ac.jp  | <a href="https://cale.law.nagoya-u.ac.jp/event/2023-student-forum">https://cale.law.nagoya-u.ac.jp/event/2023-student-forum</a>                   |
| 2月17日(金)            | 大学院生のためのキャリアガイダンス<br>(2023年2月)  | 場所:オンライン(Zoom)<br>時間:12:00~13:00<br>対象:博士後期課程の学生、ポスドク、博士後期課程への進学を検討中の博士前期課程の学生<br>参加費:無料   | 博士課程教育推進機構<br>キャリア教育室<br>hakase-career@adm.nagoya-u.ac.jp   | <a href="https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/events/guidance2023_02/">https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/events/guidance2023_02/</a>                 |
| 2月18日(土)            | 融合フロンティア博士人材シンポジウム<br>「博士へのトビラ(名大大学院で過ごす5年間)」   | 場所:オンライン(Zoom)<br>時間:13:00~<br>対象:高校生とその保護者、大学生<br>参加費:無料  | 博士課程教育推進機構<br>hakase-career@adm.nagoya-u.ac.jp  | <a href="https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/events/others2022_03/">https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/events/others2022_03/</a>                     |
| 2月20日(月)、<br>21日(火) | The 5th KMI International Symposium<br>(KMI2023) on "Quest for the Origin of<br>Particles and the Universe" | 場所:ES総合館1階ESホール  | 素粒子宇宙起源研究所<br>(KMI)<br>KMI2023@kmi.nagoya-u.ac.jp   | <a href="https://www.kmi.nagoya-u.ac.jp/workshop/KMI2023/">https://www.kmi.nagoya-u.ac.jp/workshop/KMI2023/</a>                                   |
| 2月20日(月)            | 全学同窓会・学生会講演会  | 場所:オンライン(Zoomウェビナー)<br>時間:16:30~18:00<br>講演題目:「2050年カーボンニュートラルを目指して」<br>講演者:内山田竹志氏(トヨタ自動車株式会社取締役会長)<br>定員:500名(2/19申込締切)<br>対象:一般<br>参加費:無料                            | 全学同窓会事務局<br>052-783-1920<br>nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp  | <a href="https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2022_uchiyamada.html">https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2022_uchiyamada.html</a>             |
| 2月21日(火)            | 第135回げんさいカフェ  | 場所:減災館1階減災ギャラリー、オンライン(zoomウェビナー)<br>時間:18:00~19:30<br>講演題目:「災害時のライフライン途絶を想定したエネルギー確保について考える」<br>講演者:小沢裕治(減災連携研究センター特任准教授)<br>定員:40名(現地)、500名(オンライン)<br>対象:一般<br>参加費:無料 | 減災連携研究センター<br>gencafe@gensai.nagoya-u.ac.jp   | <a href="http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=22673">http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=22673</a>   |
| 2月24日(金)            | ジェンダー・リサーチ・ライブラリ<br>ブックトーク『彼女たちの文学:語りにくさと読まれること』  | 場所:ジェンダー・リサーチ・ライブラリ1階図書室<br>時間:12:15~12:45<br>対象:学生、その他利用者<br>参加費:無料   | ジェンダー・リサーチ・ライブラリ<br><a href="https://www.grl.kyodokansaku.provost.nagoya-u.ac.jp/contact">https://www.grl.kyodokansaku.provost.nagoya-u.ac.jp/contact</a> | <a href="https://www.grl.kyodokansaku.provost.nagoya-u.ac.jp/archives/2083">https://www.grl.kyodokansaku.provost.nagoya-u.ac.jp/archives/2083</a> |
| 2月25日(土)~<br>27日(月) | 令和5年度一般選抜個別学力検査<br>前期日程   | 場所:東山キャンパス、他   | 入学試験事務室<br>052-789-5765   | <a href="https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/us-exam/cat/index.html">https://www.nagoya-u.ac.jp/admissions/exam/us-exam/cat/index.html</a> |

|                       |  |  |   |   |
|-----------------------|--|--|---|---|
| 2月25日(土)、<br>2月26日(日) | 第68回地球教室「鉱物をさがそう！」                                       | 場所:名古屋市科学館(1日目)、蒲都市生命の海科学館、三田石材(2日目)<br>時間:14:00~16:30(1日目)、9:00~16:30(2日目)<br>内容:鉱物の性質について学習し、鉱物の採集と鑑定を行う<br>定員:18名<br>対象:小学3年生以上、一般(小学生は保護者同伴)<br>参加費:2,000円             | 博物館事務室<br>052-789-5767  | <a href="https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/earth/#000630">https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/earth/#000630</a>                                       |
| 2月27日(月)~<br>3月10日(金) | 宇宙地球環境研究所<br>附属飛翔体観測推進センター<br>「民間における宇宙利用」<br>2週間上級コース   | 場所:東山キャンパス、オンライン<br>内容:超小型衛星やそのデータの利用に関する基礎知識を有し、民間における人工衛星利用の潜在的ニーズを掘り起こすことができる人材の育成を目指す<br>定員:20名<br>対象:人工衛星やデータを用いた宇宙利用に興味のある学生、一般(文理不問)<br>参加費:無料                      | 宇宙地球環境研究所<br>附属飛翔体観測<br>推進センター<br>宇宙開発利用推進室<br>sero-<br>contac@isee.nagoya-<br>u.ac.jp  | <a href="https://coso.isee.nagoya-u.ac.jp/sero/course_2302.html">https://coso.isee.nagoya-u.ac.jp/sero/course_2302.html</a>                                 |
| 2月27日(月)              | 第185回防災アカデミー   | 場所:減災館1階減災ホール、オンライン(zoomウェビナー)<br>時間:18:00~19:30<br>講演題目:「知っておきたい!災害時の食と栄養」<br>講演者:笠岡(坪山)宜代氏(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際災害栄養研究室長)<br>定員:40名(現地)、500名(オンライン)<br>対象:一般<br>参加費:無料 | 減災連携研究センター<br>gencafe@gensai.nagoya-<br>u.ac.jp   | <a href="http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=22705">http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=22705</a>   |
| 3月1日(水)               | 教育学部附属高等学校卒業式  | 場所:豊田講堂<br>時間:10:00~   | 教育学部附属高等学校<br>副校長 三小田博昭<br>052-789-2680   |   |
| 3月4日(土)               | 大学教育改革フォーラムin東海2023                                      | 場所:名城大学八事キャンパス、オンライン<br>時間:10:00~16:45<br>内容:大学教育について一緒に議論し連携・連帯を深め、質の高い大学教育をこの地域に実現する<br>参加費:無料   | 高等教育研究センター<br>准教授 安部有紀子<br>052-789-5692   | <a href="https://sites.google.com/view/tokaiforum2023/">https://sites.google.com/view/tokaiforum2023/</a>   |
| 3月4日(土)               | 東海国立大学機構連携企画博物館<br>第29回特別展関連講演会                          | 場所:博物館3階講義室、オンライン<br>時間:13:30~15:00<br>講演題目:「木曾馬の保存?木曾馬の保全?」<br>講演者:高須正規氏(岐阜大学応用生物科学部准教授)<br>定員:50名(対面)、200名(オンライン)(WEB事前申込制)<br>参加費:無料                                    | 博物館事務室<br>052-789-5767  | <a href="http://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/satellite/#000624">http://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/satellite/#000624</a>                                 |
| 3月9日(木)               | 第24回グローバル人材のための<br>国際情勢講座                                | 場所:経済学部1階経済第2講義室、オンライン(zoom)<br>時間:13:30~15:00<br>講演題目:「非常識の中にこそ戦略ありー時代を開くビジネスとその発想ー」<br>講演者:田中英成氏(株式会社メニコン代表執行役社長)<br>定員:80名(対面)、100名(オンライン)(WEB事前申込制)<br>参加費:無料          | アジア共創教育研究機構<br>052-789-5717   | <a href="https://www.t-gex.nagoya-u.ac.jp/information/704-2.html">https://www.t-gex.nagoya-u.ac.jp/information/704-2.html</a>                               |
| 3月18日(土)、<br>3月25日(土) | 宇宙地球環境研究所<br>小学生(4年生以上)向け体験学習<br>「石や遺跡の年代はどうしてわかるの?」     | 場所:中津川市鉱物博物館(1日目)、研究所共同館Ⅱ(2日目)<br>時間:8:30~18:00(1日目)、13:00~16:30(2日目)<br>内容:日常的に受けている自然放射線について学び、正しい知識を身につける<br>定員:20名<br>対象:小学4年生~6年生(両日参加可能な方)<br>参加費:無料                 | 宇宙地球環境研究所<br>年代測定研究部<br>体験学習事務局<br>052-789-2579<br>dokidoki23@nendai.nagoya-<br>u.ac.jp | <a href="https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/news/event/2023/20230111.html">https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/news/event/2023/20230111.html</a>                   |
| 3月18日(土)              | ダンス・スコア特別講座シンポジウム<br>「ダンスと人形:アヴァンギャルドはモノと動きをどのように捉えていたか」 | 場所:愛知芸術文化センター12階アトスペースA(名古屋市中区)<br>時間:13:00~17:00<br>内容:ドイツ・ロシア・日本の前衛芸術について、研究者とプロデューサーが詳しく解説<br>定員:120名(予約不要)<br>参加費:無料   | 人文学研究科<br>准教授 山口庸子<br>k46439a@nucc.cc.nagoya-<br>u.ac.jp                                | <a href="https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/event/event-sub2/">https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/event/event-sub2/</a>   |
| 3月21日(火・祝)            | 名古屋大学オープンレクチャー2023                                       | 場所:理学南館1階坂田・平田ホール、他<br>時間:13:30~15:30<br>内容:少人数の講義スタイルで研究をわかりやすく話す<br>対象:高校生(中学生、高等専門学校生、大学(院)進学準備中の方も可)<br>参加費:無料   | 学術研究・<br>産学官連携推進本部<br>052-747-6527<br>outreach@aip.nagoya-<br>u.ac.jp                   | <a href="https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/research-information/openlecture/oi2023">https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/research-information/openlecture/oi2023</a> |



|                     |  |  |  |   |
|---------------------|--|--|--|---|
| 3月27日(月)～<br>31日(金) | 理系大学生のための<br>「太陽研究最前線体験ツアー」  | 場所:宇宙地球環境研究所、他<br>定員:理系学部(教育学部含む)の大学生(2、3年生を優先)<br>参加費:9,000円  | sun_tour@kwasan.kyoto-u.ac.jp                      | <a href="https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/news/event/2022/20221207-2.html">https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/news/event/2022/20221207-2.html</a>   |
| 3月27日(月)            | 2022年度名古屋大学春季卒業式   | 場所:豊田講堂(ライブ配信あり)<br>時間:9:30～(教育学部、情報学部、工学部、農学部)、<br>11:00～(大学院全研究科)、<br>13:00～(文学部、法学部、経済学部、理学部、医学部) | 教育推進部基盤運営課<br>052-789-2159                         | <a href="https://www.nagoya-u.ac.jp/info/20221226_graduation.html">https://www.nagoya-u.ac.jp/info/20221226_graduation.html</a>   |
| 3月28日(火)            | 未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所グリーン構造材料インフォマティクス研究部門(GiSM)<br>第2回ワークショップ「様々な『みる』を通じて高温プロセスに内在する現象を紐解く」 | 場所:オンライン<br>時間:13:00～17:20<br>内容:様々な「みる」手法を用いて、多相、混相融体内及び界面での輸送現象を紐解く<br>参加費:無料                      | gism@material.Nagoya-u.ac.jp                       | <a href="https://chem.material.nagoya-u.ac.jp/%e3%80%902023%e5%b9%b43%e6%9c%8828%e6%97%a5%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%80%91%e7%ac%ac%e4%ba%8c%e5%9b%9e%gism%e3%83%af%e3%83%bc%e3%82%af%e3%82%b7%e3%83%a7%e3%83%83%e3%83%97%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/">https://chem.material.nagoya-u.ac.jp/%e3%80%902023%e5%b9%b43%e6%9c%8828%e6%97%a5%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%80%91%e7%ac%ac%e4%ba%8c%e5%9b%9e%gism%e3%83%af%e3%83%bc%e3%82%af%e3%82%b7%e3%83%a7%e3%83%83%e3%83%97%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/</a> |
| 6月3日(土)             | 医学系研究科総合保健学専攻<br>大学院説明会  | 場所:大幸キャンパス本館2階、東館4階<br>時間:9:00～12:00<br>内容:全体説明会、コース別説明会<br>対象:大学院進学を検討している方(事前申込不要)                 | 医学部・医学系研究科<br>大幸地区事務統括室<br>大幸教務学生係<br>052-719-1518 | <a href="https://www.met.nagoya-u.ac.jp/">https://www.met.nagoya-u.ac.jp/</a>   |

東海国立大学機構連携企画 名古屋大学博物館第29回特別展

岐阜大・名古屋大 博物館コラボ展

博物館コンサート



# 標本と楽しむ ピアノトリオ

2023.2.11(土) 14:00-15:00 参加無料

会場 名古屋大学博物館 展示室

出演 エミーリエ・ピアノトリオ

平山晶子 (ピアノ・岐阜大卒)

二川理嘉 (ヴァイオリン・愛知県立芸大卒)

杉山知子 (チェロ・愛知県立芸大卒)

事前申込制・先着50名 (下記ウェブサイトから・申込開始1/10(火) 13:00~)

<https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/concert/#000623>



 Nagoya University Museum  
名古屋大学博物館

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
TEL: 052-789-5767 HP: [www.num.nagoya-u.ac.jp/](http://www.num.nagoya-u.ac.jp/)

地下鉄名城線名古屋大学駅2番出口すぐ ※公共交通機関をご利用ください

Fossa r

compa

Funicul

ma d

Funicul

ma d

N.cervic

Intumes

N.thorac

Sulcus

poste

Funicul

Funicul

Dura ma

Intumesc

Conus r

N.thorac

N.lumba

Cauda

N.lumba

sacra

N.sacra

N.coccy



TCSセミナー 第17回

# 現代音楽と日本文化・文学とのつながり

## 作品をめぐる感覚の複層性と経験

日時 2023年2月13日(月) 14:00-16:00

会場 名古屋大学文学部棟131 教室

司会 小島秋良、林一実 事前予約不要 | 対面開催

言語 講演 日本語 | 質疑応答 日本語、英語

登壇者 伊藤美由紀 | 作曲家

木村麻耶 | 箏奏者

宇澤達 | 数学者  
現代アート、現代音楽愛好家

講演と演奏 二十五絃箏の現代作品:文化、文学、アートからのインスピレーション



伊藤美由紀 | 作曲家

愛知県立芸術大学、マンハッタン音楽院修士課程修了後、コロンビア大学(ニューヨーク)で作曲をトリスタン・ミュライユに師事、博士号を取得。文化庁芸術家在外研修員としてIRCAM(フランス国立音響音楽研究所)にて研鑽を積む。ミュージック・フロム・ジャパン(ニューヨーク)、アタック・シアター(ピッツバーグ)、愛知芸術文化センター、Sinus Ton(ドイツ)、大矢素子、加藤訓子、等からの作品委嘱ほか、名古屋文化振興賞、日本交楽団振興財団作曲賞入選、フランコ・エヴァンジェリスティ国際コンクール(イタリア)優勝などを含み、カーネギーホール、レゾナンス・フェスティヴァル(パリ)、ISCM(香港、エストニア)、ICMC(マイアミ)、SMC(ギリシャ、スペイン)、Re:New(デンマーク)、Visiones Sonoras(メキシコ)、Foro国際現代音楽祭(メキシコ)、アジア音楽祭など国内外で作品の発表を続けている。また、ニンフェアール、JUMP(日米:新しい音楽の展望)の代表として自主企画公演を定期的に展開。ニンフェアール第10回公演は第14回佐治敬三賞受賞。作品集として『時の砂』がALCD80から、『もうひとつの声』(第75回文化庁芸術祭参加作品)が2020年トーンフォレスト・レコードからリリース。執筆活動として『音楽現代』に特集記事や公演批評を寄稿。2019年カワイサウンド技術音楽振興財団研究助成により『二十五絃箏の可能性』研究。今まで名古屋芸術大学、千葉商科大学、愛知県立芸術大学大学院、愛知県立大学、四川音楽学院(中国)などで後進の指導にあたっている。



木村麻耶 | 二十五絃箏奏者

北海道出身。3歳より橋本はるみ氏に師事。桐朋学園芸術短期大学在学中に野坂恵子氏に師事。第17回賢順記念くめ全国箏曲祭にて賢順賞(第1位)受賞等、幼少より数々のコンクールで優勝、入賞する。これまで北海道新聞社賞、釧路奨励教育長賞、平成24年度別海町文化奨励賞、第14回佐治敬三賞を受賞。現代音楽フェスティバルMaerzMusikより招請されベルリンにて演奏等、チェコ、ハンガリー、ウラジオストク、メキシコ、中国、スペイン等にて国際公演やレクチャーのほか、フェスティバルでの審査員を務める。財団法人での事業、学校にて公開講座、アウトリーチやコンサートも行い、様々な作曲家の委嘱初演も数多く行っている。伊福部昭氏この音とまれ!アニメ等の録音など、CDレーコーディングやTV出演、NHK-FMラジオ等にも多数参加している。「伊福部昭二十五絃箏曲集」(音楽之友社レコード芸術誌特選盤に選出) アニメ「この音とまれ!時瀬高等学校箏曲部」(第72回文化庁芸術祭賞のレコード部門、優秀賞受賞/第32回日本ゴールドディスク大賞純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー 受賞)石井智子スペイン舞踊生活40周年記念公演「ちはやふる-大地の歌-」(平成29年度文化庁芸術祭舞踊部門大賞受賞)にて4plusが音楽を担当。文化庁、公益財団法人東京都歴史文化財団、池袋芸術劇場主催「Born Creative」Festival2020、2021出演。箏さとわ会会員、宮城会会員。紡ぐ糸メンバー。埼玉県立久喜高等学校箏曲部講師。



宇澤達 | 数学者、現代アート、現代音楽愛好家

名古屋大学大学院多元数理科学研究科教授。専門は表現論。研究テーマは表現論、表現論と代数幾何、時系列解析、応用数学。数学の中でも「表現論」という百年ほどの歴史しかない分野を専門としている。代数、幾何、解析が不可分に関係する分野。1980年代後半、エール大学への留学時代に彫刻科の柳幸典、マシュー・バーニー、マイケル・リースといった友人たちとの交流を通して芸術における表現活動についても考えるようになった。数学と社会の接点を考えを述べた文章としては「100年後に生きる君たちへ」<https://therace.jp/science/uzawa/>などがある。



第6回

# 東海スタートアップカンファレンス

# テクノロジーが 未来のビジネスを拓く

2023 **2.14** TUE

14:00-18:00 [13:30 受付開始]

ミッドランドホール

名古屋市中村区名駅4-7-1  
ミッドランドスクエア5階

定員  
**150**名

科学や技術における革新的な発見は、あっという間に業界の垣根を越え、思いもよらない分野でゲームのルールを変える可能性を秘めています。テクノロジーが引き起こす社会や産業の大変革を予測し、それを乗り切るには、新しい発想で未来をとらえることが重要です。組織の壁を越え、外部と連携して、新たな市場やイノベーションの創出につなげていくことは一つの解と言えるのではないのでしょうか。

今回は「ゲームチェンジングテクノロジー」「ベンチャー企業と大企業の協業・連携」をテーマに取り上げます。

主催：Tongali(主幹機関 名古屋大学)  
中部オープンイノベーションカレッジ(運営 東海東京証券株式会社)  
名古屋商工会議所

後援：Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium  
愛知県  
経済産業省 中部経済産業局  
一般社団法人中部経済連合会  
名古屋市  
株式会社名古屋証券取引所(予定)

## 基調講演 ①

### ゲームチェンジングテクノロジーの破壊力



前野 健二氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
コンサルティング事業本部  
経営コンサルティングビジネスユニット 経営コンサルティング第2部  
シニアマネージャー

南山大学卒、McGill大学経営大学院(MBA)修了。トヨタ系Tier1メーカー、外資系コンサルティング会社を経て2013年より現職。製造業を中心に、長期ビジョン策定、新規事業開発、M&A戦略策定等の案件に携わる。直近は、自動車OEMおよび各Tierのサプライヤーが100年に一度の大変革期を乗り越えるための成長戦略策定および事業ポートフォリオ転換実現に向けた案件に従事。経営者の意思決定を後押しする“参謀役”として、お客さまのありたい姿の実現を後押しする。

## 基調講演 ②

### スタートアップと大手企業の共創が世界を変える



佐渡島 隆平氏

セーフィー株式会社  
代表取締役社長CEO

大学在学中に創業。2002年ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社に入社。2010年に同社出資のモーションポートレート株式会社にてCMOに就任。2014年にセーフィー株式会社を創業。2017年「クラウド録画サービスシェアNo.1」を獲得し、現在も堅持(2022年シェア56.4%)。2020年「Forbes JAPAN日本の起業家ランキング2021」で第1位を受賞。「映像から未来をつくる」をビジョンに掲げ、映像データの活用で社会の課題解決やあらゆる産業の“現場DX”を推進する。



寺久保 朝昭氏

キャンノンマーケティングジャパン株式会社  
ソリューションデベロップメントセンター長

1991年入社。システム系の直販営業を経て、ページプリンタ企画部門へ異動。企画部長まで務め、その後、映像ソリューションビジネスを担うNVS企画本部にてNVS企画部長、NVSエンジニアリング部長を経て、2020年同企画本部長へ就任。2022年よりソリューションデベロップメントセンターにて、ITソリューションとキャンノン製品を組み合わせ社会やお客さまの課題解決を実現する新規ソリューションの創出を、同センター長として推進する。

# テクノロジーが未来のビジネスを拓く

## プログラム(予定)

14:00～ **開会挨拶** 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学総長 杉山 直

14:10～ **基調講演①**  
「ゲームチェンジングテクノロジーの破壊力」

**講演者** 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
コンサルティング事業本部 経営コンサルティングビジネスユニット 経営コンサルティング第2部  
シニアマネージャー 前野 健二氏

14:55～ **基調講演②**  
「スタートアップと大手企業の共創が世界を変える」

**講演者** キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
ソリューションデベロップメントセンター長 寺久保 朝昭氏  
セーフィー株式会社 代表取締役社長CEO 佐渡島 隆平氏

15:40～ **休憩(10分)**

15:50～ **パネルディスカッション+質疑応答**

**【パネリスト】**  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
コンサルティング事業本部 経営コンサルティングビジネスユニット 経営コンサルティング第2部  
シニアマネージャー 前野 健二氏

キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
ソリューションデベロップメントセンター長 寺久保 朝昭氏

セーフィー株式会社 代表取締役社長CEO 佐渡島 隆平氏

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学総長 杉山 直

ほか、パネリスト調整中

**【モデレーター】**  
Project Lead, lot & Urban Transformation of World Economic Forum 平山 雄太氏

17:00～ **閉会挨拶** 東海東京証券株式会社 代表取締役社長 佐藤 昌孝

17:10～ **閉会**

情報交換会(17:10～18:00)

申込  
方法

▶ ホームページよりお申し込みください。

<https://tongali.net/events/startup-conf2023/>

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。



申込締切

2023年2月10日(金)

●お問い合わせ



名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部  
Tongali事務局

TEL 052-747-6490

E-mail tongali@aip.nagoya-u.ac.jp

URL <https://tongali.net/>



東海東京証券株式会社 地域創生推進部  
中部オープンイノベーションカレッジ事務局

TEL 052-527-9123

E-mail chubu-oic@tokaitokyo.co.jp

URL <https://www.tokaitokyo.co.jp/chubu-oic/>



商号等：東海東京証券株式会社 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、  
一般社団法人日本STO協会



# スープと イデオロギー

監督・脚本・ナレーション ヤン ヨンヒ 撮影監督 加藤孝信  
編集・プロデューサー ヘクホ・ジェイジェイ  
音楽監督 チョ・ヨンウク (『お嬢さん』『タクシー運転手 約束は海を越えて』など)  
アニメーション原画 こしだミカ アニメーション衣装デザイン 美馬佐安子  
エグゼクティブ・プロデューサー 荒井カオル 製作 PLACE TO BE  
共同制作 navi on air 配給 東風  
韓国・日本 | 2021 | 日本語・韓国語 | カラー DCP | 118分

2023

2/17 (金) 13:30

TCSセミナー第18回

## ヤン ヨンヒ氏

「在日」2世が語り継ぐ濟州4・3という記憶  
激動の「戦後」を生き抜いた女性の生涯

司会 朴成柱

日時 2023年2月17日(金)

13:30~17:15 (JST)

会場 名古屋大学文系総合館7階

カンファレンスホール

定員 70名 | 事前予約制

参加無料

### タイムテーブル

13:30 『スープとイデオロギー』上映 | 118分

15:30 休憩 | 15分

15:45 講演 | ヤン ヨンヒ監督 | 60分

16:45 質疑応答 | 30分

17:15 終了予定

言語 | 日本語



### ゲスト | ヤン ヨンヒ監督

大阪出身の「在日」2世。日本の映画監督。自身の父親を描いたドキュメンタリー映画『ディア・ピョンヤン』(2005)でデビューし、ベルリン国際映画祭・最優秀アジア映画賞 (NETPAC賞) ほか、各国の映画賞を受賞。その後も、『愛しきソナ』(2009) や『かぞくのくに』(2012)などを発表し、国内外で多くの賞に輝いた。



©PLACE TO BE, Yang Yonghi

こちらより

事前予約

いただけます→



連絡先 朴成柱 | park.seongju.z9@s.mail.nagoya-u.ac.jp  
公式サイト <https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/tcs/>

主催 名古屋大学大学院人文科学研究科附属超域文化社会センター | 名古屋大学融合フロンティアフェローシップ(アジア未来創造分野)

TCS  
Center for Transregional Culture and Society,  
Graduate School of Humanities,  
TCS Seminar Nagoya University



2022年度 日本法教育研究センター

アジア探法・「法の多様性」探究・発信プログラム  
学生フォーラムのご案内

日時：2023年2月17日(金)

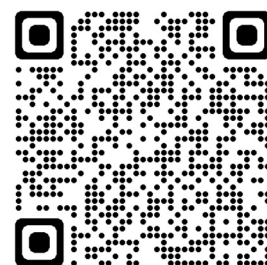
09:00~10:00 ポスター発表(対面のみ)

10:30~12:00 グループ討論(対面とオンライン両方)

17:00~18:30 文化発表会(各国文化紹介)

会場：名古屋大学 アジア法交流館2階  
アジアコミュニティフォーラム

※グループ討論のみ Zoomと対面両方で実施します。



申込：[https://www.ics-com.biz/web\\_entry/nagoya/entries/add/182](https://www.ics-com.biz/web_entry/nagoya/entries/add/182)

アジア各国で活動を展開する「名古屋大学日本法教育研究センター」において、「日本語と日本の法律」を学ぶ大学生20名がウズベキスタン・モンゴル・ベトナムより短期来日し、学んだ成果を発表いたします。皆様のご参加をお待ちいたしております。



名古屋大学法政国際教育協力研究センター(CALE)

Email: cale-jimu@law.nagoya-u.ac.jp

電話:052-789-4263/2325 FAX:052-789-4902





# 博士へのトビラ

名大大学院で過ごす5年間

## 2023年2月18日

名古屋大学博士課程の  
魅力を身近に感じよう!

対象:学部生・大学院生・  
保護者の方・高校生

ご興味のある方も大歓迎!

場所: オンライン 13:00~

お申込み



TWITTER

LINE



QRコードで  
友達登録も  
してね!



# 名大大学院で 過ごす5年間

## 博士へのトビラ

対象：学部生・大学院生・  
保護者の方・高校生

大学院5年間の過ごし方や  
キャリアパスを  
博士課程学生が語ります。  
文系の先輩のお話も聞けますよ！  
天野浩先生による基調講演も！

日時：2023年2月18日（土）

13:00～

場所：オンライン

お申し込み



情報を発信して  
いきます！  
登録してね♪

LINE



Twitter





名古屋大学全学同窓会・学士会共催 講演会 (ウェビナー)

# 2050年 カーボンニュートラルを 目指して



**参加費無料**

どなたでも  
お申し込みいただけます



## PROFILE

### 内山田 竹志氏

1946年生まれ愛知県出身。名古屋大学工学部卒。  
1969年トヨタ自動車工業株式会社(現トヨタ自動車株式会社)入社。

1994年第2開発センター第2企画部主査(初代「プリウス」開発責任者)となり、1997年に世界初の量産ハイブリッド自動車を世に送る。

1998年取締役、2001年常務取締役、2003年専務取締役、2005年取締役副社長、2012年取締役副会長を経て、2013年から現職。

この間、経済産業省計量行政審議会会長、総務省情報通信審議会会長、内閣府総合科学技術・イノベーション会議有識者議員、一般社団法人日本経済団体連合会副会長などを歴任。

2015年4月、藍綬褒章受章。  
2020年11月、旭日大綬章受章。

日時

令和5年 **2月20日** 月  
16:30~18:00

開催方法

**Zoomウェビナー**

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため  
オンラインでの開催となります。

講師

**内山田 竹志氏**

トヨタ自動車株式会社 取締役会長

お申し込み

申込期限：**令和5年2月19日(日)まで**

定員：**500名様**

**名古屋大学全学同窓会Webページよりお申し込みください。**

\* お申し込みは先着順とさせていただきます。  
定員に達し次第、お申し込み受付を終了しますのでご了承ください。  
お申し込み完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に  
Zoomウェビナーの参加方法をご案内します。

全学同窓会Webページ <https://www.nual.nagoya-u.ac.jp>

全学同窓会facebook <https://www.facebook.com/nualface/>



◀左記のQRコードからも  
ご確認・お申し込みいただけます。

[https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2022\\_uchiyanada.html](https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2022_uchiyanada.html)

※ご参加にあたって  
・視聴用のURLについては、お申し込みいただいたメールアドレスにご案内します。  
・講演会(ウェビナー)の録画はご遠慮ください。  
・Zoomウェビナーの視聴環境は各自でご用意ください。

主催 名古屋大学全学同窓会 一般社団法人 学士会

後援 名古屋大学

お問い合わせ **NUAL** 名古屋大学全学同窓会  
NAGOYA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp (052) 783-1920 受付時間9:00~17:00



# 知っておきたい！ 災害時の食と栄養



2023 2/27 (月) 18:00-19:30

場所：名古屋大学減災館 1階 減災ホール

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所  
国際災害栄養研究室 室長

## 笠岡 (坪山) 宜代

後回しにされてきた災害時の食・栄養が、今！大きく変わろうとしている。何を備えたら良いのか、現場でどうしたら良いのか等のエビデンスも蓄積されてきた。日本の教訓から生まれた災害食の認証制度をベースに、国際基準“ISO”を目指す取り組みも始まった。災害栄養の最前線をご紹介したい。

**避難生活を少しでも元気に過ごすために**

**食事とれていませうか**  
不安で食欲がない、飲食物が十分に届かないなど困難な状況が多いですが、まずはできるだけ食べて、身体にエネルギーをいれましょう。  
・エネルギーは、寒さに対抗し、体力や健康の維持のために大切です。  
・食欲がない時には、エネルギーのある飲料や汁物、甘い食物を食べることから試してみましょう。  
・支援物資では、食物の種類が限られるので、ビタミンやミネラル、食物繊維が不足しがちです。野菜や果物のジュース、栄養を強化した食品などが手にはいいたら、積極的にとりましょう。  
・食欲がない、かたい物が食べにくいなど、お困りの点がありましたら、医療・食事担当スタッフにご相談ください。

**水分をとりましょう**  
飲料水やトイレが限られており、水分をとることを控えがちです。飲み物がある場合には、我慢せずに、十分に飲んでください。水分が不足すると下痢のような症状がおこりやすくなります。  
・脱水  
・心筋梗塞  
・脳梗塞  
・エコノミークラス症候群  
・低体温  
・便秘

**身体を動かしましょう**  
復興の作業のために、身体を動かしている方もいらっしゃいますが、避難所の限られた空間では身体を動かす量が減りがちです。健康・体力の維持、気分転換のために、身体を動かしましょう。  
・足の運動（腿や足の指を動かす、かかとを上下に動かす）  
・室内や外で歩く  
・軽い体操 など

**食べる時に**  
・できるだけ直接さわらずに、袋（包装物）ごと持って食べるようにしましょう。  
・配られた飲食物は早めに食べましょう。

**食物アレルギーがある方、病気の治療で食事の制限が必要な方、妊婦さん等は、早めに避難所のスタッフや医療・食事担当スタッフにご相談ください。母子、高齢者（高血圧、糖尿病を含む）向けの資料もあります。必要な方はお知らせください。**

**おもいやり災害食認証制度**  
健康ビジネス協議会

**日本災害食認証制度**  
日本災害食学会

Leaflet

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| <b>Nutrition and Diet</b>  | <b>Hygiene Control</b>   | <b>Baby and Mother</b>   | <b>Elderly and NCD</b>   |
|  |  |  |  |
| English PDF<br>Spanish PDF<br>Tagalog PDF<br>Hangul PDF<br>Vietnamese PDF<br>Chinese PDF | English PDF<br>Spanish PDF<br>Tagalog PDF<br>Hangul PDF<br>Vietnamese PDF<br>Chinese PDF | English PDF<br>Spanish PDF<br>Tagalog PDF<br>Hangul PDF<br>Vietnamese PDF<br>Chinese PDF | English PDF<br>Spanish PDF<br>Tagalog PDF<br>Hangul PDF<br>Vietnamese PDF<br>Chinese PDF |

※翻訳：神奈川県大和市

6か国語リーフレット

◆開催形式：現地参加とオンライン（zoom ウェビナー）のハイブリッド開催

◆参加費：無料

◆申込方法：下記 URL または QR コードよりお申込みください。ご登録いただきましたメールアドレス宛に参加方法をご案内します。

◆申込 URL：https://forms.gle/t6pTFK32gPfE89HK7

◆申込期限：2023年2月27日（月）正午まで

主催：名古屋大学減災連携研究センター

問い合わせ：防災アカデミー担当

MAIL: inquiry-academy@gensai.nagoya-u.ac.jp





# 第24回 グローバル人材のための国際情勢講座

## 非常識の中にこそ戦略あり

### ～時代を開くビジネスとその発想～

国立大学法人東海国立大学機構では、「グローバル人材のための国際情勢講座」の一環として、田中英成 株式会社メニコン代表執行役社長を招聘して講義を開講致します。学生・教職員・他大学の学生・市民に公開致しますので、ご興味のある方はぜひご出席ください。

参加費  
無料

要事前申込

2023. 3/9 木 13:30～15:00  
(質疑応答含む)

開場 13:00～ (Zoom入室可能時刻13:15～)

## 名古屋大学東山キャンパス 経済学部 第2講義室

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町  
(地下鉄名城線名古屋大学駅下車1番出口すぐ)



開催方法 対面・オンライン (Zoom Webinar) のハイブリッド開催

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によりオンラインのみの開催になる可能性があります。

講師: 田中英成 株式会社メニコン代表執行役社長



1959年京都生まれ。日本初の角膜コンタクトレンズを開発した創業者田中恭一を父に持ち、眼科専門医を取得後、メニコンへ入社。環境変化に伴い、悪化した業績を立て直すため、業界内日本初のコンタクトレンズの定額制会員販売システム「メルスプラン」を考案し、市場に導入させる為、2000年に40歳で社長へ就任。経営改革を果敢に行い業績をV字回復させ、東証及び名証1部同時上場を実現した。またユーザーファーストの商品開発を積極的に実施。特に1DAYコンタクトを清潔・簡単に取り出せるケースを業界の新常識「スマートタッチ」として展開し、テレビCMなどを自らクリエイトする。また、「メニコンカップ」日本クラブユースサッカー東西対抗戦(U-15)を25年以上支援し若手育成に貢献。プライベートでは「あおい英斗(ペンネーム)」として脚本や作詞を手掛け、代表作ラジオミュージカル「本能寺が燃える(2011年ギャラクシー奨励賞・JFN賞企画部門大賞受賞)」、などを制作。各方面で将来性のある若い音楽家や俳優の支援も行っている。

言語

日本語

申込方法

定員: 会場 80名 オンライン 100名  
※定員に達し次第、受付終了します。

下記のURL または QRコードからお申込みください。

●会場参加申し込み  
<https://forms.office.com/r/c87XF7whfu>

●オンライン参加申し込み  
[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_OubME1R9QlaTZ6HmzJN17A](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_OubME1R9QlaTZ6HmzJN17A)



【主催】国立大学法人東海国立大学機構

【共催】名古屋大学アジア共創教育研究機構

博士課程教育推進機構

T-GEx世界的課題を解決する知の「開拓者」  
育成事業



【協賛】一般財団法人 東海東京財団

問い合わせ先

名古屋大学アジア共創教育研究機構

Tel: 052-789-5717 E-mail: 10ryumon01@adm.nagoya-u.ac.jp



令和4年度 名古屋大学 地域貢献事業

定員20名  
小学生(4年生以上)対象

# 石や遺跡の年代はどうしてわかるの？

3/18 (土) 8:30am~6:00pm

**観察・見学・実習** 放射線の基礎を学び、私たちが常に自然放射線を受けて生活していること、放射性同位体を用いて石や遺跡の年代を求めることができることを学びます。中津川市鉱物博物館に出向き、さまざまな岩石・鉱物を観察し、その特徴、いつ頃、どのようにできたのかを学びます。展示されている岩石、中津川周辺の地層の放射線量を簡易放射線測定器で測定してみましょう。

場所：中津川市鉱物博物館 (大型バスをチャーターして、名古屋大学から日帰りで行きます)  
集合・解散場所：名古屋大学 豊田講堂前広場



放射性鉱物を多く含む岩石



中津川市鉱物博物館



なんだろうくん (中津川市鉱物博物館)

令和4年度  
**体験学習 in ISEE**

地球の空気や大地、食べ物、飲み物などの中にはさまざまな放射性物質が含まれており、放射線が出ています。放射線を出す同位体(放射性同位体)は、石や遺跡の年代を測定する手段として使われています。本体験学習では、地球上の岩石の放射性元素(カリウム、トリウム、ウランなど)に起因する放射線、宇宙から降り注ぐ放射線(宇宙線)など、私たちが日常的に受けている自然放射線について学ぶことにより、放射線に対する正しい知識を身につけます。

3/25 (土) 1:00pm~4:30pm

**講義・実習・発表** 大学の先生から放射線に関する講義を受けます。書籍を用いて、花崗岩・放射性鉱物などから出ている放射線を観察します。講義、各自行った自然放射線測定結果、中津川市鉱物博物館の見学で得られたことなどをまとめて発表を行い、放射線、放射性同位体について考えてみましょう。

場所：名古屋大学 研究所共同館 II  
集合・解散場所：研究所共同館 II 玄関

<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/directions.html>



ビッ!

放射線

## 野外調査・実習

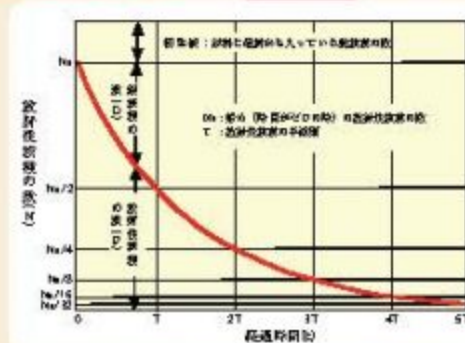
自宅周辺など、いろいろな場所の自然放射線量を簡易放射線測定器で測定し、中津川で測定した値と比較してみましょう。

場所：各自、測定したい場所

3/19~24



自然放射線量を測定する様子



放射線核種を利用した年代測定法

### 申込方法

普通はがきに①~③をご記入の上、以下の問合先住所までお申し込みください。  
①参加者の氏名(ふりがな)と学年(お友達と複数で同時参加を希望される場合は、その旨、お書きください。)  
②郵便番号・住所・電話番号・Eメールアドレス  
③応募のきっかけ  
※結果は申込締切後1週間以内にメールにて通知いたします。なお、応募多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください。  
申込締切：2023年3月3日(金)

### 応募問合先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学宇宙地球環境研究所年代測定研究部 体験学習事務局  
TEL: 052-789-2579 Mail: dokidoki23@nendai.nagoya-u.ac.jp



名古屋大学マップ

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、内容が変更になることもありますので、ご了承ください。



# NAGOYA UNIV. OPEN LECTURE



名古屋大学

## 名古屋大学 オープンレクチャー 2023 Nagoya University Open Lecture

少人数の講義スタイルで、研究をわかりやすくお話しします。大学・研究者・最先端研究が身近に感じられるこの機会に、ぜひご参加ください。

3/21 火・祝

会場 名古屋大学 東山キャンパス  
理学南館 坂田・平田ホール

(13:00～ 受付開始)

13:30～14:00 ▶ 名古屋大学紹介

14:00～15:30 ▶ 公開講義 (各講義室：当日ご案内)

入場  
無料

要事前  
申込み

対象

高校生

\*中学生、高専生、大学(院)進学準備中の方も可。

申込

QRコードからお申込みください。

\*ご希望の講義を1つ選択してご登録ください。



※公共交通機関をご利用下さい。



申込受付開始日時：2月3日(金) 16:00～

各講義 40名

申込先着順

### 植物の成長の謎にせまる気孔の科学のはなし

木下 俊則 トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授

植物の気孔は、太陽光に反応して開口して光合成に必要な二酸化炭素を取込み、同時に蒸散を行うことで、根からの水分吸収を促進しています。本講演では、気孔の開閉の仕組みや、気孔開度制御による収量増加について紹介します。

この研究は、科学研究費・基盤研究(S)「気孔開度調節のシグナル伝達の解明と植物の成長制御」、他の助成を受けています。



### パワー半導体が変わえる新しい電気自動車のはなし

山本 真義 未来材料・システム研究所 教授

電気自動車の心臓部にはパワー半導体という電気部品を使った機器が搭載されています。このパワー半導体が名古屋大学が研究しているGaNパワー半導体が変わることで、電気自動車がどんな形に変化するかについて紹介します。

この研究は、NEDO・グリーンイノベーション基金事業、他の助成を受けています。



### 宇宙の暗黒成分のはなし

宮武 広直 素粒子宇宙起源研究所 准教授(T-GeXフェロー\*)

近年の宇宙観測技術の飛躍的向上により、宇宙の95%は正体が全くわからない暗黒成分(暗黒物質と暗黒エネルギー)であることがわかりました。本講演では宇宙の暗黒成分がどのように発見されたか、またその正体に迫るためにどのような観測が計画されているのかについて紹介します。

この研究は、科学研究費・基盤研究(B)「すばる望遠鏡HSCの最終データを用いた宇宙の加速膨張の起源の解明」、JST創発的研究支援事業「多波長観測で拓く高赤方偏移宇宙論」、他の助成を受けています。



### 胎児の脳づくりを手助けする免疫細胞のはなし

服部 祐季 医学系研究科 講師(T-GeXフェロー\*)

胎児の脳は、刻一刻とダイナミックな変化を伴いながら秩序立って形成されていきます。脳内の免疫細胞である「ミクログリア」が、胎児の脳内で周囲の神経系の細胞とどのような相互作用を経て脳づくりをサポートしているのか紹介します。

この研究は、科学研究費・学術革新領域研究(A)「胎生期大脳ミクログリアの分布経路に起因する多様性の解読」、JST創発的研究支援事業「ミクログリア多様性の理解と母体炎症による影響の解明」、他の助成を受けています。



### 量子で挑む極限性能コンピュータのはなし

藤巻 朗 工学研究科 教授 田中 雅光 工学研究科 准教授

量子とは、さまざまな物理現象に現れるエネルギーの最小単位です。量子の持つ特異な性質を利用すると、極限的な性能に迫るコンピュータを実現できます。超伝導をつかった量子を操るコンピュータについて、原理から最新線までお話しします。

この研究は、科学研究費・特別推進研究「パルスを情報伝達担体とする超低電力100GHz級超伝導量子デジタルシステムの探求」、JST・CREST「人工スピンドで作る柔らかく可変の担体による高エネルギー効率情報処理」、JST・ムーンショット型研究開発事業「超伝導量子回路の集積化技術の開発」、他の助成を受けています。



\*新型コロナウイルス感染防止対策にご協力願います。  
\*お付き添いの方は講義にご参加いただけません。別室でお待ちいただけます。  
\*新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、急遽変更となる場合がございます。

\*T-GeXフェロー：世界的課題を解決する知の「開拓者」育成事業(文部科学省「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」)に採用された若手研究者